

大規模増殖場開発事業調査

— 大 間 地 区 —

(要 約)

足助 光久・三木 文興・沢田 満・仲村 俊毅
植村 康・尾坂 康・鎌田 専司・中村 春二※

コンブを対象とした大規模増殖場開発事業については、今別地区では昭和47～49年度の3年間、石持地区では昭和50～51年度の2年間調査が行なわれ、それぞれ昭和50年度、52年度から事業が実施されている。

大間地区の事業構想は今別および石持地区と同様な考え方であり、低利用砂礫地帯の開発をねらいとしている。

大間地区の調査期間は昭和51～52年度の2年間となっており、本年度は、主として、生物および底質などの漁場環境調査（地区の約1/2の区域）を行なうとともに、モデル施設などの試験施設を設置し、施設の埋没状況や生物の付着状況など、若干の調査を実施した。

詳細は「昭和51年度大規模増殖場開発調査報告書 一大間地区一 青水増資料 S52-№1」を参照されたい。

※ 大畑地方水産業改良普及所